

2006年12月期決算説明資料

2007年2月15日

株式会社 ワールドインテック



1. 2006年12月期決算概要

連結業績概要(前年同期比)

売上高

- 売上高は、前年同期比53.8%増と好調に推移。
- 偽装請負問題を発端とした顧客製造メーカーのコンプライアンス意識の高まりにより、当社のコンプライアンス体制が評価されるとともに、技能社員の教育等への取り組みが総合的に評価され、受注が増加。

営業利益

- 売上高は大幅に伸張したが、営業利益は前年同期比6.8%増の微増。
- ファクトリー事業、研究技術事業における営業拠点増強による投資コストの増加。
- ファクトリー事業において、第4四半期に、大型受注が続き、新規雇用に伴う一時的な先行投資コストが発生。

営業外収益

- 助成金収入 173百万円。

(単位:百万円)	05年12月期 (実績)	売上比	06年12月期 (実績)	売上比	増減	前年同期比
売上高	22,661	100.0%	34,850	100.0%	12,189	53.8%
売上総利益	3,516	15.5%	6,446	18.5%	2,930	83.3%
販売管理費	2,600	11.5%	5,468	15.7%	2,868	110.3%
営業利益	915	4.0%	978	2.8%	63	6.8%
経常利益	881	3.9%	1,172	3.4%	291	32.9%
当期純利益	429	1.9%	418	1.2%	11	-2.6%

連結業績概要(計画比)

売上高

- 売上高は34,850百万円と計画を0.6%上回る。

営業利益

- 営業利益は、計画を20.9%下回る978百万円。

経常利益

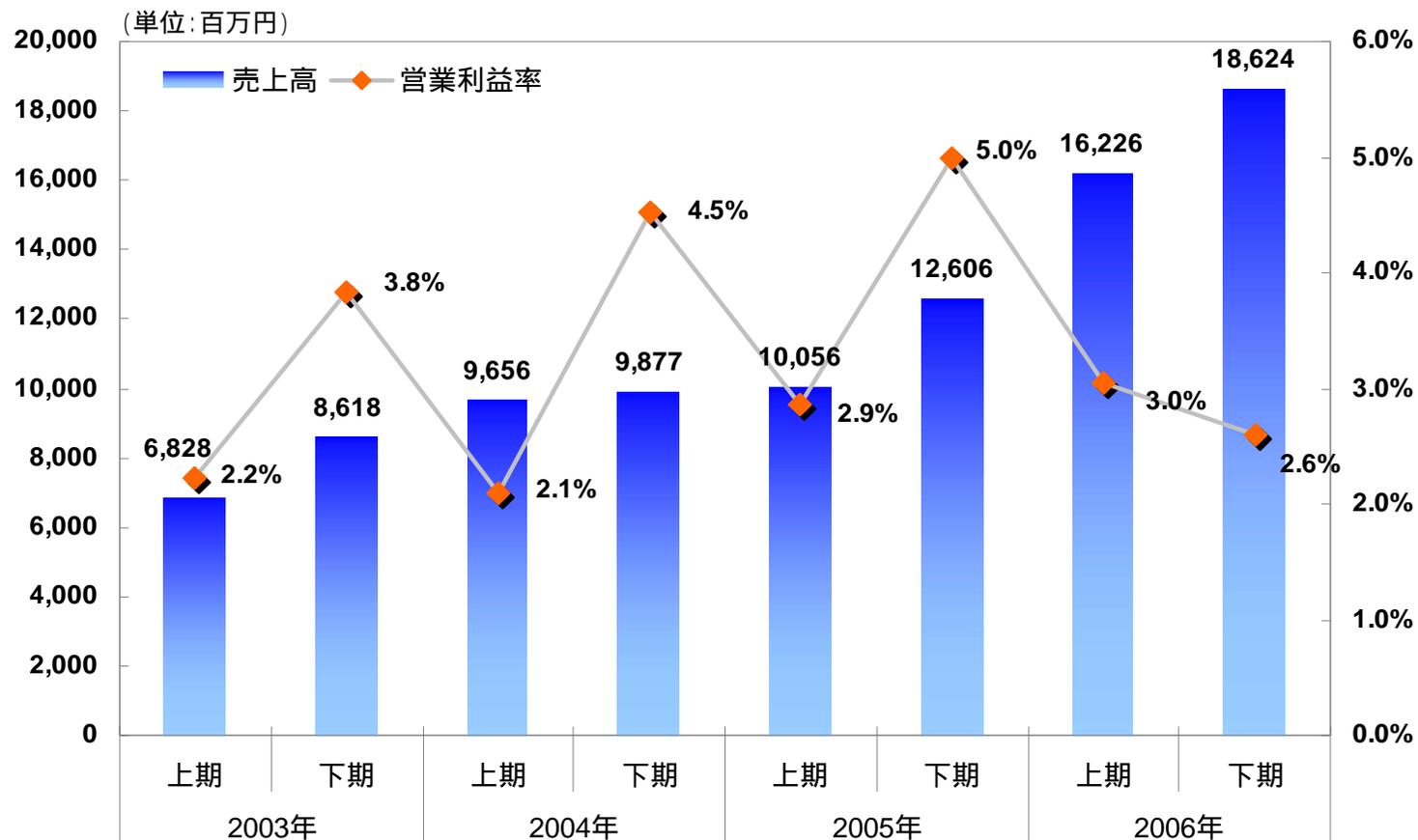
- 助成金収入173百万円があったものの、営業利益の計画未達を受け、経常利益は計画を12.9%下回る1,172百万円。

(単位:百万円)	06年12月期 (実績)	売上比	06年12月期 (計画)	計画比	増減
売上高	34,850	100.0%	34,657	0.6%	193
売上総利益	6,446	18.5%	6,460	-0.2%	14
販売管理費	5,468	15.7%	5,302	3.1%	166
営業利益	978	2.8%	1,236	-20.9%	258
経常利益	1,172	3.4%	1,345	-12.9%	173
当期純利益	418	1.2%	566	-26.1%	148

(注)2006年12月期(計画)は2006年8月18日発表数値

半期別連結業績の推移

2006年第4四半期に発生した一時的な先行投資コストにより、営業利益率が低下。



セグメント別業績の概要(前年同期比)

ファクトリー事業

- 売上高は、前年同期比31.8%増の26,996百万円。戦略的に推進してきた「製造請負基準書」に基づく請負、派遣への順法に対する経営姿勢が評価され、受注拡大が第4四半期に集中。
- 営業利益は、前年同期比10.9%増の814百万円。第4四半期に集中した急激な受注拡大のため、住宅費、募集費等の一時的な先行投資コストが発生。

研究技術事業

- 売上高は、前年同期比41.3%増の2,554百万円と大幅に伸張。一方、営業利益は、積極的な出店コストや技能社員育成のための技術力研修部門強化などの投資により、前年同期比45.7%減の121百万円。

各種サービス事業

- 売上高は、前年同期比105.2%増の754百万円、営業損失は、前年同期比43百万円増の86百万円。製造技術者の人材紹介事業を営む子会社の積極立ち上げのための開業費が発生。

情報通信事業

- 売上高は、コールセンター事業及び携帯販売事業が大きく寄与し、4,544百万円、営業利益は、128百万円。

(単位:百万円)	売上高				営業利益				
	05年12月期 (実績)	06年12月期 (実績)	前年 同期比	構成比	05年12月期 (実績)	営業 利益率	06年12月期 (実績)	営業 利益率	前年 同期比
ファクトリー事業	20,486	26,996	31.8%	77.5%	735	3.6%	814	3.0%	10.9%
研究技術事業	1,808	2,554	41.3%	7.3%	225	12.4%	121	4.7%	-45.7%
各種サービス事業	367	754	105.2%	2.2%	43	-11.7%	86	-11.4%	-
情報通信事業	-	4,544	-	13.0%	-	-	128	2.8%	-
合計	22,661	34,850	53.8%	100.0%	917	4.0%	978	2.8%	6.8%

セグメント別業績の概要(計画比)

ファクトリー事業

- 当社のコンプライアンスに対する姿勢が評価され受注拡大につながるも、第4四半期に集中。売上高は、0.6%計画を上回った。
- 第4四半期に集中した急激な受注拡大のため、一時的な先行投資コストが発生し、営業利益は計画比4.6%の未達。

研究技術事業

- 売上高は順調に推移し、計画を2.2%上回ったものの、営業利益は積極的な出店コストや技術社員育成のための技術力研修部門強化などの投資により、計画比53.5%の未達と、計画を大幅に下回った。

各種サービス事業

- 販売員派遣事業は順調に拡大し、売上高は計画を30.0%上回った。一方、営業損失は、製造分野に特化した人材紹介事業を営む子会社の積極立ち上げのための開業費が計画を上回り、計画を大幅に上回る損失となった。

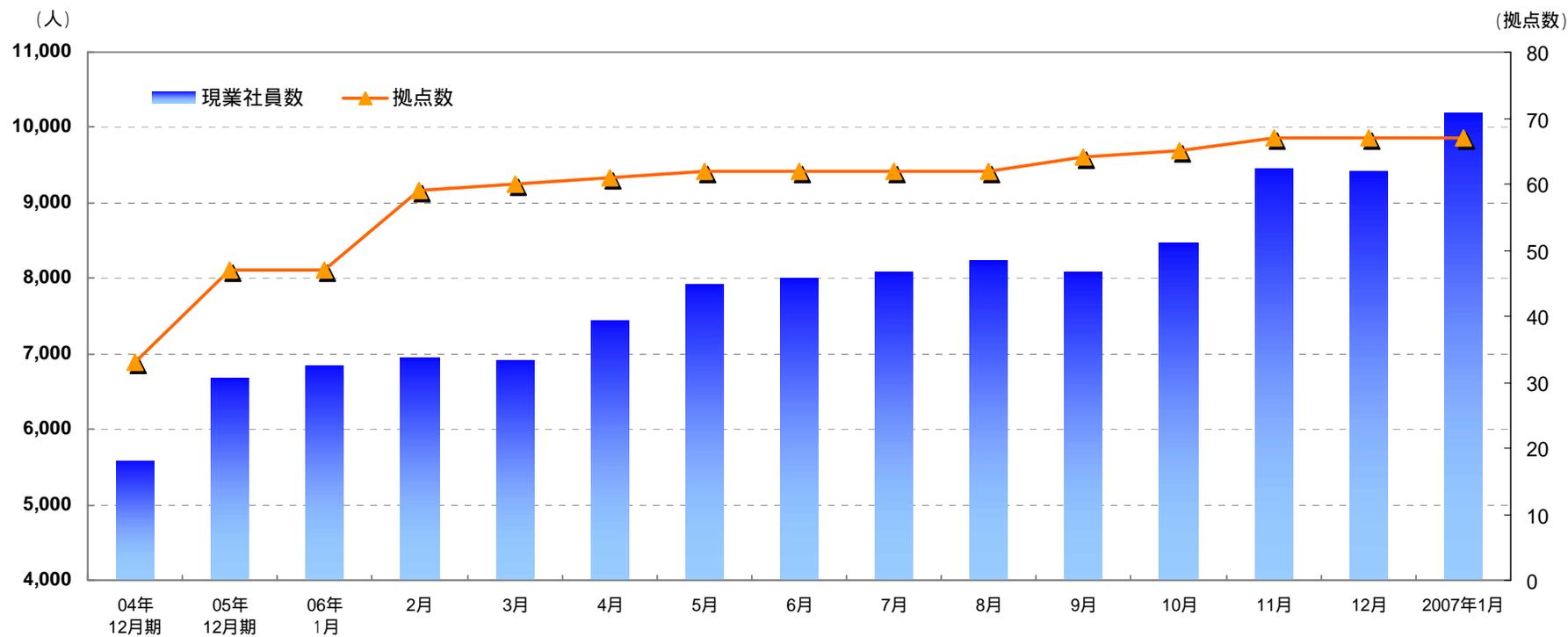
情報通信事業

- 携帯電話販売事業において、昨年末の番号ポータビリティによる消費者の買い控えが当初の予想以上に発生した為、売上高は計画比4.4%の未達、営業利益は3.8%の未達となった。

(単位:百万円)	売上高				営業利益			
	06年12月期 (実績)	構成比	06年12月期 (計画)	計画比	06年12月期 (実績)	営業 利益率	06年12月期 (計画)	計画比
ファクトリー事業	26,996	77.5%	26,826	0.6%	814	3.0%	853	-4.6%
研究技術事業	2,554	7.3%	2,499	2.2%	121	4.7%	260	-53.5%
各種サービス事業	754	2.2%	580	30.0%	86	-11.4%	10	-
情報通信事業	4,544	13.0%	4,751	-4.4%	128	2.8%	133	-3.8%
合計	34,850	100.0%	34,657	0.6%	978	2.8%	1,236	-20.9%

拠点数と在籍人員の月次推移

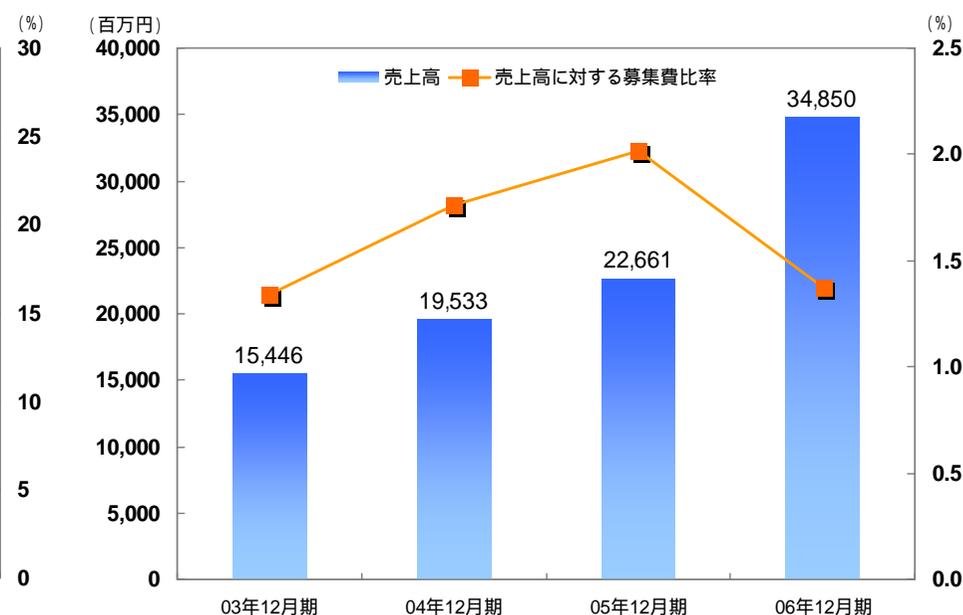
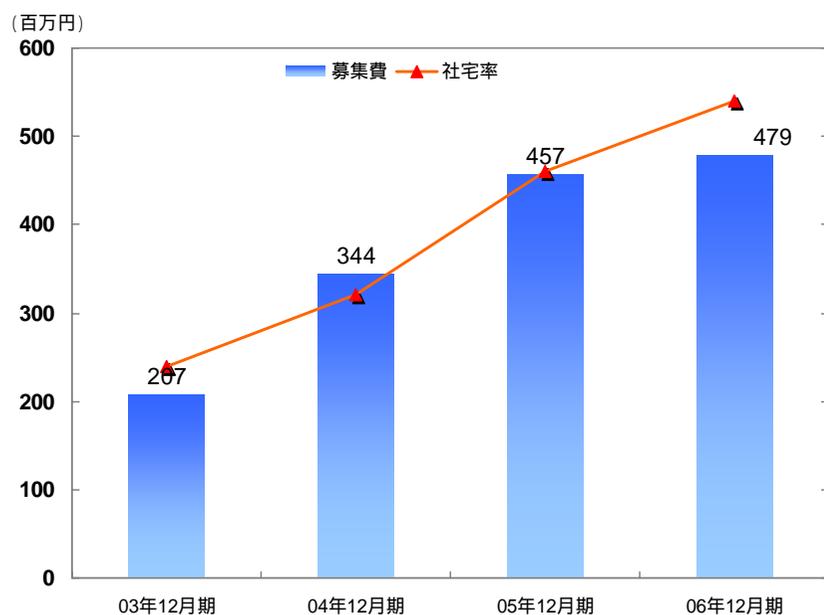
拠点増加による売上高の拡大実績は明らかであり、2006年12月期の拠点増加に対する増収効果は2007年12月期に見込む。



募集コストと社宅率の推移

募集費の総額は増加傾向だが、売上に対する募集費比率は、グループ内の採用効率化を図っているため低下傾向。

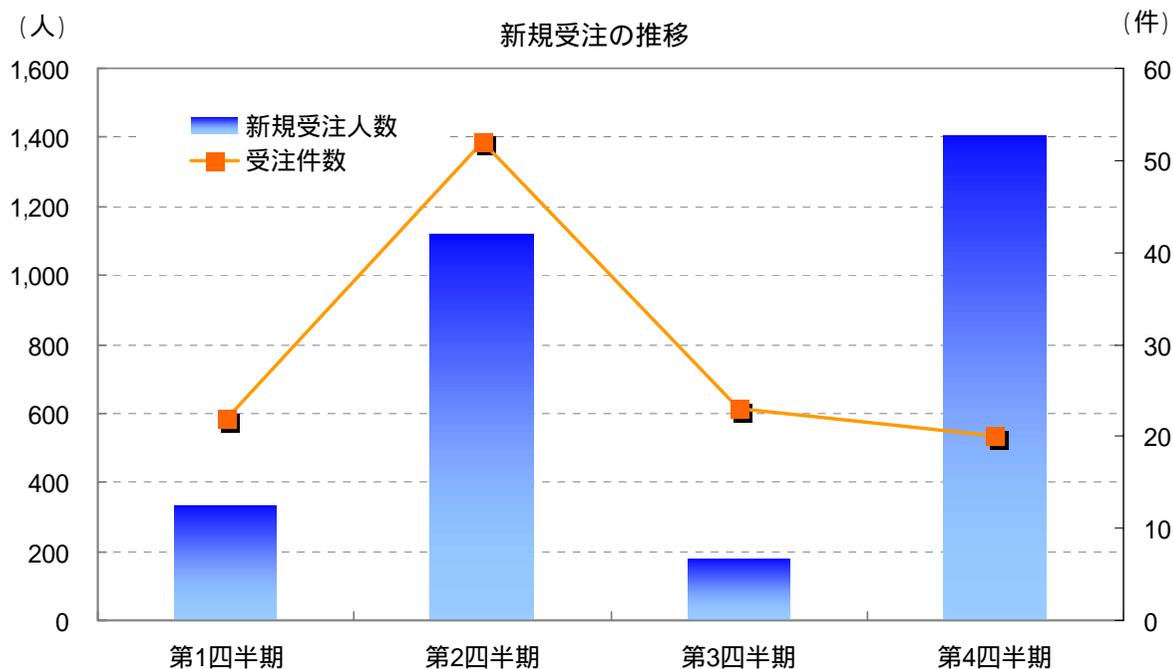
最近の傾向としては、若年人口数の少ない地域での受注及び社宅希望の社員の増加により、初期投資コストがかかる社宅数が増加。



受注による配属人数の推移

配属人数の推移

- 受注については、安定的に推移。特に第4四半期の11月は、大規模な大口新規受注があったため、配属人数が大幅に増加。



連結貸借対照表の概要

資産	(単位:百万円)	05年12月期	06年12月期	増減
流動資産		6,703	8,228	1,525
現金及び預金		3,131	3,610	478
受取手形及び売掛金		2,949	4,166	1,217
その他		623	452	170
固定資産		1,332	1,409	76
有形固定資産		122	282	160
無形固定資産		432	348	84
投資有価証券		133	207	74
繰延税金資産		72	85	13
敷金及び保証金		554	463	91
その他		17	22	5
資産合計		8,035	9,637	1,602
負債・資本	(単位:百万円)	05年12月期	06年12月期	増減
流動負債		4,679	5,740	1,060
買掛金・支払手形		265	219	46
短期借入金		1,130	820	310
その他		3,284	4,701	1,417
固定負債		66	97	30
退職給付引当金		54	81	27
役員退職慰労引当金		12	15	3
資本の部		3,027	3,412	385
資本金		690	696	6
資金剰余金		852	859	7
利益剰余金		1,483	1,854	371
少数株主持分		261	387	126
負債・資本合計		8,036	9,637	1,601

主な増減項目に対するコメント

- 受取手形及び売掛金1,217百万円増
売上拡大(53.8%)に伴う営業債権の増加
- 有形固定資産160百万円増
本社移転・パソコンの購入
- 投資有価証券74百万円増
投資組合への投資
- 敷金及び保証金92百万円減
イーサポートグループの敷金の回収
- 短期借入金310百万円減
余剰資金の返済
- 流動負債のその他(未払費用)1,417百万円増
売上拡大に伴う営業債務の増加

連結キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)	05年12月期	06年12月期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	280	988	708
税金等調整前当期純利益	883	1,133	249
減価償却費	23	69	46
法人税等の支払額等	428	664	236
その他	199	450	649
投資活動によるキャッシュフロー	78	202	123
有形固定資産の取得	60	204	143
投資有価証券の取得	120	110	10
その他	102	111	9
財務活動によるキャッシュフロー	1,042	312	1,354
短期借入金の増減	140	310	450
長期借入金の増減	50	12	37
株式の発行収入	968	12	956
配当金の支払	15	35	19
その他	0	33	33
現金及び現金同等物の増加額	1,247	475	772
現金及び現金同等物の期首残高	1,845	3,092	1,247
現金及び現金同等物の期末残高	3,092	3,568	475

営業活動によるキャッシュフロー

- 税金等調整前当期純利益 + 1,133百万円
- 未払費用の増加 + 972百万円
- 未払消費税の増加 + 203百万円
- 法人税等の支払額 664百万円

投資活動によるキャッシュフロー

- 敷金及保証金の回収 + 91百万円
- 有形固定資産の取得 204百万円
- 投資有価証券の取得 110百万円

財務活動によるキャッシュフロー

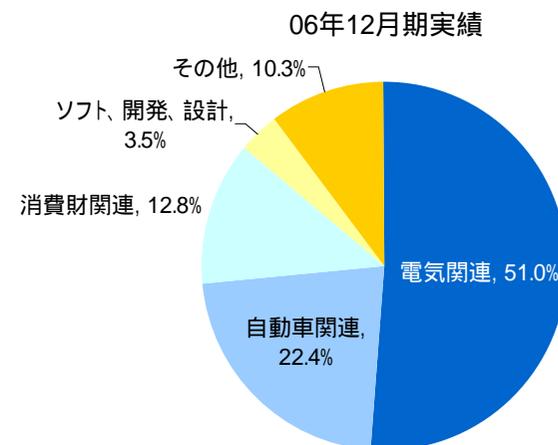
- 株式の発行 + 12百万円
- 少数株主からの払込み + 33百万円
- 短期借入金の返済 310百万円
- 配当金の支払額 35百万円

業種別売上構成の推移

2006年12月期実績

- 電気関連が業界の好調を受け51.0%と前年比3.1ポイントの増加。消費財関連も同2.1ポイントの増加。
- 一方、自動車関連は同9.2ポイント減少。

	05年12月期実績		06年12月期実績		07年12月期予想
	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)
電気関連	47.9%	10,421	51.0%	14,651	49.1%
自動車関連	31.6%	6,875	22.4%	6,435	28.9%
消費財関連	10.7%	2,328	12.8%	3,677	12.7%
ソフト、開発、設計	3.0%	653	3.5%	1,005	2.0%
その他	6.8%	1,479	10.3%	2,959	7.3%
合計	100.0%	21,756	100.0%	28,727	100.0%



(注)

電気関連：液晶・半導体関連

自動車関連：機械、精密機器関連

消費財関連：食品関連、医薬、化学関連

グループ会社業績概要(前年同期比・計画比)

ワールドエキスパーツ

- 売上高は前年同期比23.7%減の406百万円となったが、営業利益は前年同期比34.0%増の23百万円。

ワールドコーディネーターバンク

- 販売員派遣事業が順調に拡大し、売上高は前年同期比344.9%増の525百万円、営業利益は前年同期比7百万円減の 23百万円。

台湾人材管理股份有限公司

- 順調に売上を伸ばし前年同期比111.4%増の594百万円、計画比22.0%増と計画を大きく上回り、営業利益は前年同期比178.6%増の39百万円。

イーサポートグループ

- 携帯販売事業において、昨年末の番号ポータビリティによる消費者の買え控えが当初の予想以上に発生、売上高は4,544百万円と計画比4.4%の未達だったが、営業利益は128百万円と計画を137.0%上回った。

ワールドサーチアンドコンサルティング

- 製造分野に特化した人材紹介事業を本格的に立ち上げるための開業コストが発生し、売上高2百万円に対し、営業利益は 69百万円。

ウィズコミュニケーション

- 順調に売上を伸ばし売上高は53百万円と推移、計画比も上回る。営業利益は 6百万円。

(単位:百万円)	持分比率	事業内容	売上高					営業利益				
			2005年 12月期 (実績)	2006年 12月期 (実績)	前年 同期比	2006年 12月期 (計画)	計画比	2005年 12月期 (実績)	2006年 12月期 (実績)	前年 同期比	2006年 12月期 (計画)	計画比
ワールドエキスパーツ	100.0	短期総合派遣・物流・製造・軽作業	532	406	-23.7%	454	-10.6%	17	23	34.0%	36	-36.1%
ワールドコーディネーターバンク	100.0	販売員派遣	118	525	344.9%	580	-9.5%	30	23	-	10	130.0%
台湾人材管理股份有限公司	100.0	製造派遣・製造人材紹介	281	594	111.4%	487	22.0%	14	39	178.6%	24	62.5%
イーサポートグループ	51.0	情報通信	-	4,544	-	4,751	-4.4%	-	128	-	54	137.0%
ワールドサーチアンドコンサルティング	100.0	製造業に特化した人材紹介	-	2	-	-	-	-	69	-	-	-
ウィズコミュニケーション	100.0	販売員派遣・オフィスワーク員派遣	-	53	-	-	-	-	6	-	-	-

2. World Intecグループの成長戦略



人材アウトソーシング市場の中期予想

市場全体の中期予想

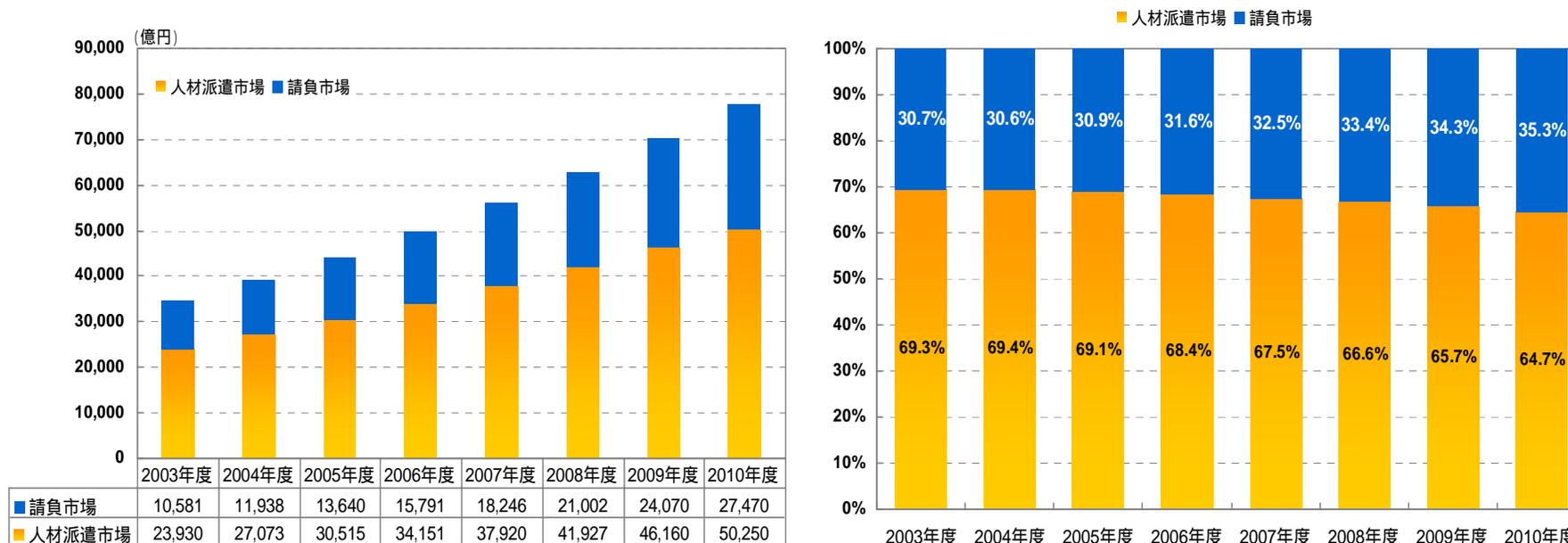
- 株式会社ミック経済研究所()の中期予想によれば、人材派遣・請負市場ともに、2010年度にかけて、継続的に成長。2010年度の潜在市場規模は、8兆円弱。

()1991年設立。情報・通信分野に特化した調査・分析を行う。

所在地：東京都港区芝四丁目7番8号芝サンエスワカマツビル 10階

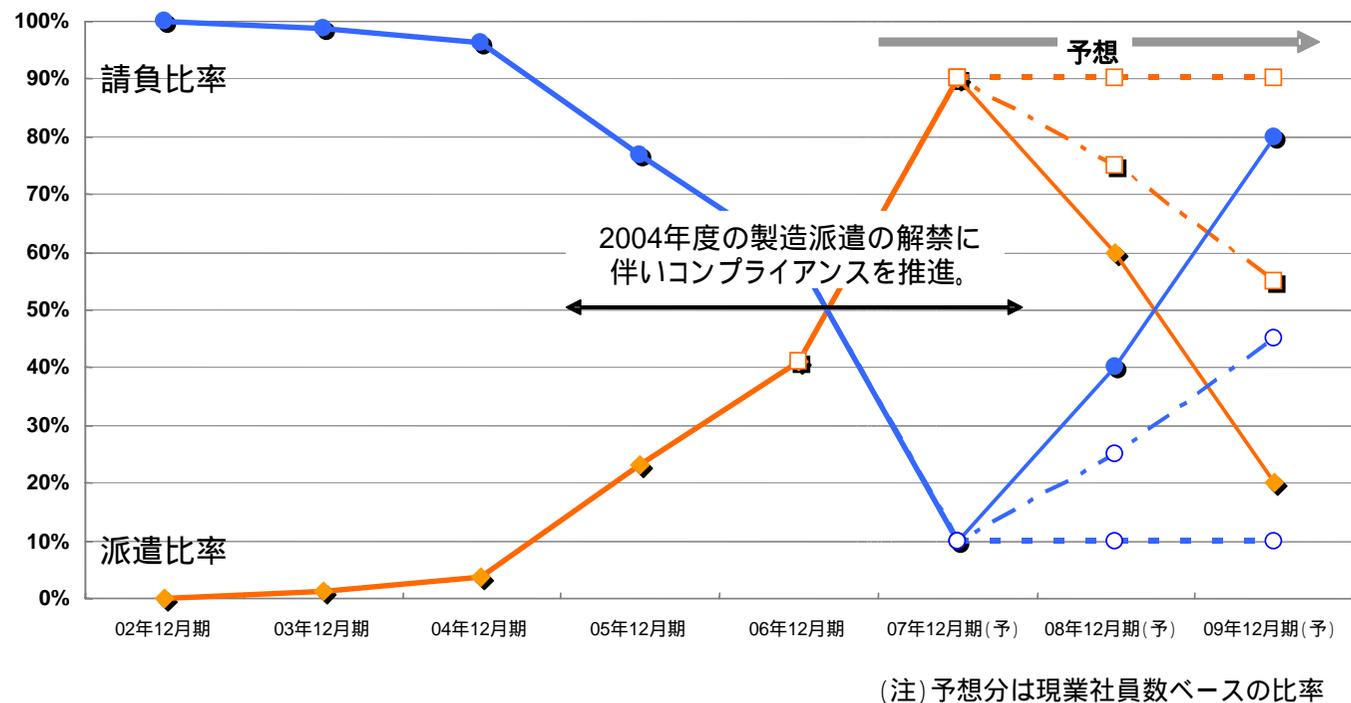
請負市場の拡大

- その中で、請負市場の相対的シェアが拡大する予想(2006年度31.6% 2010年度35.3%)。



出所：株式会社ミック経済研究所

当社事業における派遣・請負比率の動向予測



当社のシナリオプラン

- 製造派遣の規制緩和無し
製造請負化を推進
(メインシナリオ)
- 一部製造派遣緩和有り
請負化・派遣化
(サブシナリオ)
- 製造派遣の期間制限撤廃
派遣化
(サブシナリオ)

当社の派遣・請負契約による現業社員の推移(予想は、当社メインシナリオに基づく)

(単位:百万円)	02年12月期	03年12月期	04年12月期	05年12月期	06年12月期	07年12月期(予)
派遣	0	145	663	5,044	11,784	20,444
請負	7,239	12,398	17,305	16,712	16,858	15,925
その他	0	14	12	0	85	51

3. 2007年12月期業績予想

2007年12月期連結業績見通し

前年度第4四半期に集中受注した大型案件の寄与等により、売上高は、前年同期比25.1%増の43,614百万円を見込む。

先行投資負担がなくなること、製造アウトソーシング分野の好調を受け、営業利益は、前年同期比62.0%増の1,585百万円を見込む。

営業外収益には、助成金 220百万円を見込む。

(単位:百万円)	06年12月期 (実績)	07年12月期 (計画)	増減	前年同期比	売上比
売上高	34,850	43,614	8,764	25.1%	100.0%
売上総利益	6,446	7,841	1,395	21.6%	18.0%
販売管理費	5,468	6,177	709	14.6%	14.2%
営業利益	978	1,585	606	62.0%	3.6%
経常利益	1,172	1,802	638	54.9%	4.1%
当期純利益	418	760	341	81.5%	1.7%

2007年12月期セグメント別業績見通し

ファクトリー事業

- 前年度に引き続き、コンプライアンス対応力等の差別化により、業界シェアの変動が予想される。前年度第4四半期に獲得した大規模受注の稼働など、売上は26.5%増の34,140百万円を見込む。また、前年度の先行投資負担がなくなり、営業利益も42.8%増の1,164百万円を計画。

研究技術事業

- 前年度の先行投資効果が予想され、売上高は、前年同期比33.9%増の3,420百万円を計画。投資コスト負担が薄れ、営業利益も前年同期比213.1%増の381百万円と、大幅に増加する見込み。

各種サービス事業

- 子会社の販売員派遣事業の順調な拡大が見込まれ、売上高は前年同期比62.2%増の1,224百万円を計画、営業利益は9百万円の黒字化を見込む。

人材紹介事業

- 製造分野に特化した人材紹介事業が本格化することにより、売上高は、182百万円を見込むが、営業利益は開業費コストのため107百万円の損失を見込む。

情報通信事業

- 携帯販売事業が安定すると予想しており、売上高は、前年同期比2.3%増の4,647百万円、営業利益は前年同期比68.9%増の216百万円を見込む。

(単位:百万円)	売上高				営業利益				
	06年12月期	07年12月期 (計画)	前年 同期比	構成比	06年12月期	営業利益率	07年12月期 (計画)	営業利益率	前年 同期比
ファクトリー事業	26,996	34,140	26.5%	78.3%	814	3.0%	1,164	3.4%	42.8%
研究技術事業	2,554	3,420	33.9%	7.8%	121	4.7%	381	11.1%	213.1%
各種サービス事業	754	1,224	62.2%	2.8%	86	-11.4%	9	0.7%	-
人材紹介事業	0	182	-	0.4%	-	-	107	-58.8%	-
情報通信事業	4,544	4,647	2.3%	10.7%	128	2.8%	216	4.6%	68.9%
合計	34,850	43,614	25.1%	100.0%	978	2.8%	1,664	3.8%	70.1%

(注)2007年12月期の営業利益計画には連結調整勘定償却分(78百万円)を含む。

2007年12月期グループ会社業績見通し

ワールドエキスパーツ

- 戦略的に短期派遣事業以外の事業を縮小しているため、売上高は前年同期比27.6%減の294百万円を計画、営業利益は前年同期比52.2%増の35百万円を見込む。

ワールドコーディネーターバンク

- 国内大手・中堅のアパレルメーカーを中心とした新規クライアント開拓を進め、売上基盤の強化を図ることにより、売上高は前年同期比86.8%増の982百万円、営業利益は12百万円の黒字を見込む。

台湾人材管理股份有限公司

- 今期は新規2拠点の出店を計画、台湾北部及び南部の営業を強化し更なる事業拡大を目指す。売上高は前年同期比42.8%増の846百万円、営業利益は前年同期比30.8%増の51百万円を見込む。

イーサポートグループ

- 携帯販売事業が安定すると予想しており、売上高は前年同期比2.3%増の4,647百万円を計画、営業利益は前年同期比68.8%増の216百万円を見込む。

ワールドサーチコンサルティング

- 売上高は182百万円、営業損失は107百万円と前期比で損失拡大となるが、2007年11月には単月黒字化を目指す。

ウィズコミュニケーション

- 販売分野と共に、オフィスワーク分野を新たなターゲットに加え、今期黒字化の見込み。

(単位:百万円)	売上高			営業利益		
	2006年12月期 (実績)	2007年12月期 (計画)	前年同期比	2006年12月期 (実績)	2007年12月期 (計画)	前年同期比
ワールドエキスパーツ	406	294	-27.6%	23	35	52.2%
ワールドコーディネーターバンク	525	982	86.8%	23	12	-
台湾人材管理股份有限公司	594	846	42.8%	39	51	30.8%
イーサポートグループ	4,544	4,647	2.3%	128	216	68.8%
ワールドサーチアンドコンサルティング	2	182	9000.0%	69	107	-
ウィズコミュニケーション	53	242	350.7%	6	2	-

お問い合わせ先

株式会社ワールドインテック IRグループ

東京本部： 壁谷正利

本 社： 永井宏樹

TEL 東京本部： 03 - 3516 - 1122

本社： 093 - 533 - 0540

MAIL irinfo@witc.co.jp

本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績等は今後の様々な要因により、計画数値と異なる可能性があることをご承知おきください。